

あわや大ききな浸水被害に

山口金属曲板工業さんの防水ゲートに迫る水



平成30年7月豪雨は、西日本を中心に、大変な被害をもたらしました。テレビ画面や新聞には連日信じられない記事と写真が掲載されていました。お隣の広島県では広島市、呉市、三原市、尾道市など犠牲者の数も想像できないような状態となりました。

この八方原地区でも



強制排水の作業の様子がうかがえる

大雨、各地区でそれぞれの対応

これ以上は無理という厳しい状況まで事態が進んでいました。幸い、榎野川の水位や降雨の関係で何とか事なきを得たというのが現実でした。実際には6月29日、台風8号の雨のために市道が冠水していました。7月6日の雨では今年2回目の道路冠水となっていたのです。何とか事なきを得たのは、先述の通りの周辺の環境の変化による幸運だったのです。

7月7日の朝、川の水位も下がって一安心となりましたが、前夜の奮闘の跡があちこちに残っていました。写真は榎の前地区の傍を通って榎野川に流れ込む茶屋川の橋です。地区で用意したのか、行政が手配したのか強力な水中ポンプが2台、トラックの荷台に引き上げられていました。近寄って見てみると150ミリメートル径のポンプですが、2台がフル運転をしても1時間で240トンです。効果があつたでしょうか。

平成30年度八方原ふれあい盆踊り大会のご案内

毎年恒例の盆踊り大会をビレッジハウス小郡北側の「三角公園」で行います。踊りが苦手な方も心配ありません。みんな同じです。好きなように踊って下されば良いです。

当日は予約販売のバザーもあります。予約券のない方には少しですが当日販売分も用意しています。

【日時】 8月4日(土) 午後7時から9時

【会場】 三角公園

たくさんの皆様のご来場をお待ちしています。

盆踊り推進リーダー 本田 昇

多目的ホールを中心とした環境健康都市

全体の構想図(学習会で使われた資料から)



ご苦労様 酷暑の中の県道管理



榎野川沿いの県道山口秋穂線、この時期になると歩道が狭くなるほどいろいろな草が進出してきます。管理者の山口県も除草作業を定期的に行っています。

今年の7月の暑さは「災害レベル」と言われていますが、この猛暑の中厳しい作業ですが、きれいに刈り取ってもらえました。

顔もキン肉マン、右の手には「モデルガン」。これではさしものクラスも寄り付くまいと思うのは、蟲貞のし過ぎですかね。



前号で紹介した重富さんの畑のかかし君、いつの間にかパワーアップして

パワーアップした畑の番人

新山口駅在来線側が今、大きく変わろうとしています。ターミナルパークとしての整備が進み、橋上駅舎と関連した施設整備が行われ、いよいよ

新山口駅北地区拠点施設整備事業が始まります。6月23日、小郡地区自治会連合会では、その概要を学ぶための学習会を開催しました。

既にご案内の通りこの事業の主体は森ビルを中心としたグループです。山口市との合併前、町独自の駅北開発計画を策定し新市の基本計画に盛り込むように提案されていたものが、より洗練されて歩みだしました。

環境健康都市という全体コンセプトに沿った計画で商業施設を中心にした、複雑な機能を持つ「まち」を目指しています。「2つのおもて(顔)」をもつ施設づくり」が基本設計コンセプト

トとされています。

中心になるのは多目的ホールということですが、2000人収容規模といえますから、かなり大きなものです。新山口駅の自由通路のフロアからそのまま利用できるようになります。

またライフィノベーシヨンプラボという施設は、私たちの暮らしそのものを見直す、あるいは進化させる研究所となるでしょう。

先進的な施設がゆったりと配置されているという印象です。また立体駐車場を含め400台余りの駐車場も整備されます。新山口駅に、たくさんの才能が集まると良いですね。